

甲 1 2 5 訳文

アメリカ環境医学学会、遺伝子組み換え食品の即時出荷凍結を要求

カンザス州ウィチタ発 アメリカ環境医学学会（AAEM）は今日、遺伝子組み換え食品に関する声明を発表した。声明は「遺伝子組み換え食品は深刻な健康リスクを引き起こす」と述べ、遺伝子組み換え食品の出荷凍結を求めている。AAEMは、いくつかの動物実験を踏まえ、「遺伝子組み換え食品と健康上の有害な影響との間には偶然では済まされない関連がある」、「遺伝子組み換え食品は、毒物学の領域で、また、アレルギー、免疫システム、生殖機能、代謝機能、生理学的機能、遺伝子に悪影響を与えるという点でも、深刻な健康リスクを引き起こす」と述べている。

AAEMは以下のことを求めている。

- ・ 遺伝子組み換え食品の出荷凍結、長期的安全性テストの即時実施、遺伝子組み換え食品の表示の即時実施。
- ・ 医師が遺伝子組み換え食品を避けるよう、患者、医療界、公衆を啓蒙すること。
- ・ 医師が患者の疾患が引き起こされたプロセスにおいて遺伝子組み換え食品が果たしている役割に注意を向けること。
- ・ より独立性の高い機関が、遺伝子組み換え食品の人間の健康に対する影響を調査するためのデータ収集を開始し、長期的科学研究を行うこと。

「複数の動物実験の結果、遺伝子組み換え食品は体のさまざまな器官に損傷を与えることが判明した。これだけ多くの証拠が積み上げられたのだから、我々の患者と公衆の安全のため、遺伝子組み換え食品は出荷凍結すべきである」とAAEM役員兼広報部長のエイミー・ディーン博士は語った。

「医師たちはおそらく、遺伝子組み換え食品が患者に及ぼす影響を目の当たりにしている。ただ、どうやったら正しい質問ができるか、そのやり方を学ぶ必要がある」とAAEM会長のジェニファー・アームストロング博士は語った。「北アメリカにおいて最も広く消費されている遺伝子組み換え食品は、トウモロコシ、大豆、キャノーラ油、綿実油である」。

AAEMの遺伝子組み換え食品に関する声明は

#####

で見ることができる。

AAEMは、環境が健康に及ぼす影響について、臨床的な面から献身的に取り組む医師その他の専門家の国際的集まりである。詳細な情報は#####参照。

AAEMについて

アメリカ環境医学学会は、1965年に設立された、人間と環境について臨床的な面から関心を持つ医師その他の専門家の国際的集まりである。人の健康は環境に左右されるという知見に基づき、AAEMは人間と環境の相互作用の研究を行っている。AAEMは、私たち人間が、大気、食物、水の中で出会う生物学的な作用物質や化学的な作用物質に曝露されることによって引き起こされる病気のメカニズムを認識し、その治療方法、予防について研究・啓蒙することを行っている。